

学校図書館利用の習慣づけと読書から深い学びに導くアウトプットの取組

学校名 三郷市立高州東小学校
所在地 三郷市高州2-409
電話 048-955-7711

1 本校の概要

本校は今年度で46年目を迎え、児童数は222名、通常学級9学級、特別支援学級2学級、合計11学級の小規模学校である。

本市は「日本一の読書のまち」宣言、「日本一本とふれあえるまち」を掲げて取り組んでおり、それを受けて本校でも学校図書館教育を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ e 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

学校図書館に頻繁に通う児童とそうでない児童の二極化が、児童自身と学級単位の両方で起きていることが課題となっていた。そこで、自主的に学校図書館において本にふれあえる習慣づけをねらった実践を行った。

また、読書体験をアウトプットすることで、より深い学びに結びつけることをねらった実践として、読書記録を行っている。これは従来から取り組んでいたものではあるが、積極的に使用されていない実態が見られたので、それを改善するものである。

ア イベント「図書館からの挑戦状」の実施

様々な分類の本にふれてほしいという思いから生まれた、学校図書館から本を探すゲームである。「挑戦状」の中には、学年に応じた「本のヒント」が書かれており、そこから正解の本を探す。十進分類法や請求記号ラベルに触れることで、学校図書館の利用の仕方を遊びながら体験することもねらっている。

参加するには学校図書館で指定された図書を借りる必要があり、埋もれがちだが児童に読んでほしい図書に出会う機会にもなっている。



イ 「読書の記録の本棚」

読んだ図書を一定数記録した「読書の記録」を学校司書に見せることで、「読書の記録の本棚」に名前を書いた「本」の用紙を貼ることができる。今年度から「読書の記録の本棚」を図書館前に展開することで、多くの児童が本とふれあっている様子を共有できるようにし、読書意欲の喚起を図っている。これまで児童と担任でしか確認することができなかった「読書の記録」の取組状況が学校全体に可視化されたことで、自ら読書記録を書こうという意欲をもつ児童が増えた。また、担任がどの児童が習慣的に読書活動に取り組んでいるかの確認がしやすくなり、読書指導につなげることができた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 幅広いジャンルの図書にふれたり、本を探し出すことを楽しんだりすることで、学校図書館の利用促進と、読書の幅と質の充実につながった。
- ・ 読書の記録を通じて、自分の成長を実感できるようになった。

(2) 課題

- ・ 現在行っている取組を翌年度以降も継続できるように、学校全体に浸透させ、児童の読書習慣の形成に努めていく。
- ・ 全ての学級での取組状況を確実に把握し、学級担任も取組を継続させられる図書館経営を行う。

(3) おわりに

令和3年度から、児童の読書を通じて得た学びをアウトプットする力の向上を狙い、読書記録カードの作成及び毎年のブラッシュアップと利用促進の取組を進めている。継続的な取組を通して、児童が目標をもって読書に励むことができるようになってきた。

今後も、楽しみながら読書に親しむことができるように、読書環境の整備の充実や取組を行っていく。